



ソフトバレー親善試合



しでがの通信

第123号

羽津小 P・T・A

編集発行

発行所 羽津小学校

として保存して下さい

ソフトバレー親善試合
 六年生を送る会・校内陶芸展・学校保健委員会
 マラソン大会
 先生の思い出エッセイ
 一年間のふり返つて
 祝卒業(校長・教頭)
 もし、生まれかわれたら
 もし、自分かもう一人いたら
 もし、魔法が使えたら
 六年一組
 六年二組
 六年三組
 12119754321

六年生を送る会



二月二十五日、六年生を送る会が、二・三眼目に行われました。きれいに飾られた体育館へ、二年生に作ってもらったペンダントを首に拍手につつまれ入場してきた六年生。各学年が思い出づくりとして、歌や合奏を披露しました。

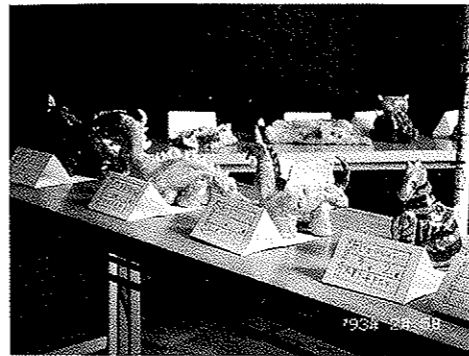
楽しい一時を過ぎ、思い出が増えたことでしょう。



かるた大会
1月30日

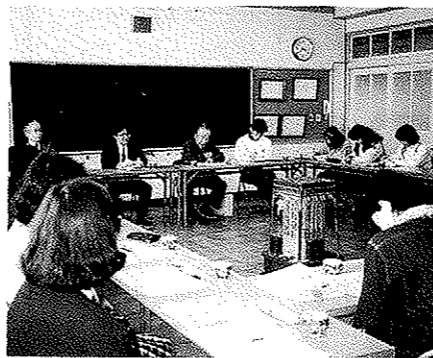
たくさん とれたかな？……

校内陶芸展

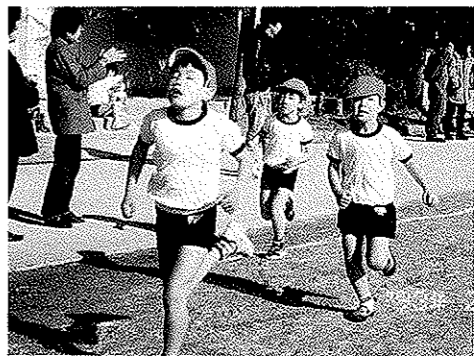


学校保健委員会

健康管理に
もう一度チェック



マラソン大会



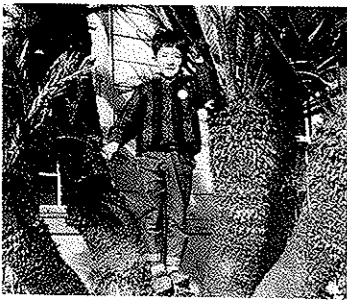
二月二十日に行われたマラソン大会は、曇一つない晴天に恵まれ、子供達は「よーいドン」のピストルの合図で元気よく走り出しました。例年よりも父兄の見学も多く、子供達も日頃の練習の成果を発揮しようと思を弾ませ、がんばって走りました。

途中、お腹を抱えてすわり込む子もいましたが、応援のお母さん達や友達「がんばって」の声に励まされ、力を振り絞ってまた走り出し、全員完走に終わりました。

子どもの頃の思い出

黒田先生

子どもの頃の自分を正しく思い出すことは難しいですが、近くに同年代の子が少なかったこともあって、小学校の前半までは姉の友達や上級生の子どもの後について遊ぶことの多い少年でした。今よりはずっと外向的で活発な子どもだったように覚えています。さまざまなお思い出がありますが振り返って懐かしく思い起される思い出にはなぜかストーリーよりも



四年生の頃



も風景や匂いや音がついてまわります。

私は四日市市の四郷地区、八王子町に生まれ育ちました。子どもの頃は山や川で遊んだり、山の向こうにどんな町があるかと想像するのが好きでした。今は四郷地区の南は笹川地区になっていますが当時は笹川団地はなく一面の山(丘陵地)でした。天白川も護岸整備はされてなく、草や木の茂ったならかな土手に挟まれた川でした。この川を町外れの上流や下流まで魚を追って飽きずに歩いたことが記憶に浮かびます。

川の南には水田があり、その向こうには「ぬか山」とみんなが呼んでいた湿った一面の草地在が広がっていました。ここは昔誰かが手を加えたのか垣根の名残が所々にあって、至る所に水仙の花が咲いていた美しい場所でした。ある日弟が古井戸に落ちました。ここは危険な場所でもあったのです。幸い弟は無事でしたが、近所の人と助けに駆け付けた母、その時の母

かわらないもの

中山先生

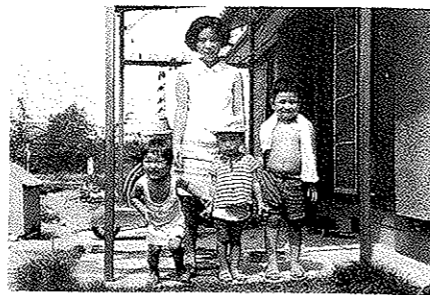
の足が刈り取った笹の上を草履の脱げた足で走ったため血まみれであったことが忘れられません。



この写真は近所の幼なじみと写したものです。毎日のように、田んぼや山で虫を取ったり、秘密基地を作ったり暗くなるまで遊んでいました。この頃から落ち着きが多くなったように、自分ばかりが怪我をして帰っていました。

小学校になっても通知表には、「少し落ち着きがないようです。」と書かれ、母からは毎日のように「勉強しなさい。」と言われていました。しかし、小学生の頃の自分

は、「何で勉強しなくちゃいけないのかな。」と考えているような子どもでした。その頃、作文かノートに、「何で勉強しなくちゃいけないの。」となげなく書いたのに対して先生の言葉は、「いやならやらなくてもいいと思うよ。自分で、よく考えてみよう。」というものでした。その後、必死で勉強し



2才の頃 (左端)

たわけではないのですが、それだけは何故か記憶に残っています。今、教師という職業に就いて一年になろうとしています。子どもたちからはやはり、「何で勉強しなくちゃいけないの。」とよく質問されました。自分は、「いやならやらなくてもいいよ。」とは言えませんが、「今、できること、やりたいことを一生懸命にしてみたら。」と答えています。

写真の自分から二十年が過ぎたわけですが、足が地に着いていないような落ちつきのないまま一生を過ごしてしまいましたが、今、出来ることを一生懸命にすることが出来るから、落ちつくことを考えてみようと思っています。

一年間をふり返って

P T A 会長

宮田 清志

私の三年間のP T A活動も、まもなく、大詰めになるうとしていきます。大きな問題もなく、無事にここまでできましたのも、ひとえに、校長先生始め諸先生、P T A役員の皆様、そしてご父兄の皆様、の絶大なる御協力の賜物と深く感謝致しております。

今年度の目標「和」の一環としてソフトバレーにおいても、参加人数は、少しずつ減りましたが、賛同して頂き、続けることができただけでも大きな収穫だと思っております。最初の「一歩」が大きな一歩であると思うのです。この一歩が、二歩になり、三歩、四歩と、今後益々P T A活動が活発になることを心より願っております。

環境整備部長

西脇 則明

早いもので、平成四年度も過ぎようとしています。樹木消毒に始まり、部員、役員の方々の協力を得て終える事が出来ました。夏には、防災訓練と重なり、皆様に迷惑をおかけ致しました。

いたらない部長で部員の皆様に随分協力して頂きまして、ありがとうございました。

P T A役員をさせて頂き、先生方や父兄の方々とのお輪も広がり、うれしく思っている次第です。ありがとうございました。

安全部長

大野 泰生

早いもので私が安全部長をさせて頂いたとき、やがて一年がたちます。何もわからない私が此迄、出来たのもひとえに学校の先生方、P T A会員の皆様方の御指導、御協力の賜物と厚く御礼申し上げます。さて一年間の事業活動をふり返ってみますと、横断旗講習会、交通安全教室など様々な体験をさせていただき、交通安全に対する認識を一層深めることが出来ました。この経験を生かして今後の私の交通安全意識の高揚に役立てたいと思います。

補導部長

松村 憲生

児童を補導する事にならない様に願っているのは、補導部だけではもちろんありませんが、一年を

振り返って見て、巡回補導での多くの児童の行動には、何も心配する様な問題は見られませんでした。それは、私の児童達への思いの中に、社会の一員としての子供達へのびのびと育ててほしい。大人が作ってしまう枠の中で成長しているのではなく、素直で正直な気持ちがあれば、羽目はずしてしまっても、正しさを判断できる児童であれと願いつづけているからです。

学年学級部長

佐治 洋子

一言で申しますと、「暗中模索」の一年でした。給食試食会に始まり、各学年行事、運動会の競技参加と行事を終える度に反省ばかりの繰り返しでした。本部役員のお荷物の存在だった私を導いてくださった本部役員の方々、学年代表さん始め学級委員の皆様にかから感謝しております。力不足の私でしたが、常任委員会を通じて、沢山の方々と巡り会えたことは、今後の私にとって、心の中で大きな糧になることと信じています。一年間、有難うございました。

教養部長

奥村 良美

六月の研修旅行を皮切りに、今年度の教養部は、運動会の玉入れ、テーブルマナー講習会、料理教室

と行事を進めて参りました。その間、会員皆様のご協力を得て、行事に参加して頂いた方々とは、和気合い合いの、楽しい時を持つことが出来ました。ただ、企画の内容が、皆様に満足して頂いたものであったか、という点に就きましては、少しばかりの反省を致しております。最後に、来年度も、教養部の行事に、たくさんの方々の参加をお待ちしております。

広報部員一同

今年度三回の発行を終えることができました。これも諸先生をはじめ、会員のみなきまのご協力のおかげと、心より感謝致しております。行事の写真振りやレイアウトなどは、個々に思いを残し、感慨無量です。

来年度も、学校、保護者、児童の協力のもとで、心暖まる広報が作られることを願ってやみません。「しでがの」に対する要望、ご意見などは、広報部までお聞かせ下さい。

- 正岡、天春、森、益田、橋本、山田、大森、伊藤(歳)、渡辺、福井、前川、伊藤(都)、平松、片岡、森(願)、岩田(T)、伊藤(T)



1年生からのおくりもの

祝卒業

卒業に際して

皆さんに望むこと

校長 清水 英範

六年生の皆さん、ご卒業おめでとう。入学以来六年間、時には苦しいことやつらいこともあったことと思いますが、皆さんひとりひとりの努力で乗り越え、はれて卒業の日を迎えることができました。しかし、その陰には、あふれるほどの愛情をもって育ててくださったご両親はじめ家族の皆さん、情熱をもって指導してくださった先生方、皆さんの成長を温かく見守り、支えてくださった地域の皆さん、助け合い励まし合った友だち……。多くの人々の理解と協力があつたことを決して忘れてはいけません。

皆さんが今後の人生を歩んでいく中で、苦しいこと、つらいこと、にぶつかることもあるでしょう。どんな困難にぶつかっても決してくじけることなく、真正面からぶつかって解決しようとする強い意志と困難に耐える力を身につけるため、これからも努力してほしいと思います。また、他の人々を思いやる優しい心も忘れないで下さい。皆さんの健康と活躍を祈ります。

「畏れ」を求む

教頭 小井 捷治

ご卒業おめでとう。二十一世紀を生きる君たちに、お祝いの言葉を贈ります。限らない科学・技術の進展は、人間の壁や限界とされてきたことを可能にし、多大の快適さ、利便さ・効率性を与えてきてくれています。

しかし、人間は、自然界の一員として生かされており、万物と共存することによって真の幸せを実現する方法を考えなければなりません。当然のこととして、人間には不可能なことはない、とする思い上がりや独善を排し、自らを慎み、他者を思いやり、優しく生きることが求められています。

変化の激しい時代であるからこそ、時として立ち止まって考えることが必要です。集団社会における人間の在り方(自己の不完全さや限界、他者との関係)や自然環境と調和した生き方が強く求められています。

今こそ、人間を超えたものに対する「畏れ」の心を持って生きることによって、人間の限りなき尊さを具現化していきたい。

山本やよい先生
四年担任

ご卒業おめでとうございます。六年間は長かったですか。短かったですか。この六年間で、たくさんの人に出会い、いろいろ勉強してきたことと思います。これからも、出会いを大切に、自分になりものを取り入れて、一步一步前進していきましょう。

生川 茂子先生
四年担任

ご卒業おめでとうございます。勉強量も増え、何かと悩みも多くなるとは思いますが、へこたれずクラブ活動で心身をきたえ、充実した中学時代を送ってほしいと思います。

二十一世紀は君達のもの
皆さん、お元気でがんばってね。

大橋 和弘先生
三・四年担任

卒業おめでとうございます。

六年前に小学校の校門をくぐった日のことを覚えていますか。楽しかったこと、がんばったこと、苦しかったこと……いろいろなことがよみがえってきますね。その思い出を大切にして、中学校でも健康に気をつけ、努力しましょう。

竹腰 勝子先生
書き方担任

五十才近くの私に「先生独身？好きな人いる？」等と笑いと驚きの言葉の数々、書き方の授業では真剣そのものでしたね、等の思い出をこの私に残して卒業するあなた達。「夢」を大きく持って、汗かきベそかき、自分に素直に、心豊かに生きていきましょう。

龍華 弘美先生
家庭担任

家庭科の勉強の中で3クラスとも調理実習がとて楽しかったですね。計画したものを作るのはいそいそ、時には失敗もありましたね。しかし、その時間中に、あなた達の目が輝き生き生きとした本来の姿が見れたような気がします。失敗を恐れずにがんばって下さい。

渥美 静子先生
用務

いよいよ六年間の学校生活に、ピリオドを打つ日が来ましたね。楽しい事は楽しい思い出に、苦しい事も楽しい思い出になるよう努力して、健康に気をつけて、これからの学生生活に、頑張ってください。心より祈っています。

伊藤 操さん
給食

心身ともに健康で、何事も粘り強く一歩一歩を大地に踏みしめ、着実に進んで下さい。

川村 直美さん
給食

素直な心で誰にも愛され、いつも感謝の気持ち忘れず力いっぱい努力する人になって下さい。



森岡真衣子先生
音楽担任

六年生のみなさん、卒業おめでとう。みなさんとは半年という短いお付き合いでしたが、その間、楽しい思い出をたくさん作る事ができました。音楽会、運動会、遠足など、どれも私の心の宝物です。もうすぐみなさんは中学生、大きく成長して下さいね。

栗田百合子先生
養護

中学時代は、身も心もグングン伸びる時期です。「健康にまさる宝はない」の言葉どおり、健康はすべての活動の基礎なのです。そして、健康は自分のからだに関心をもって積極的に努力しなくては保てません。確実に成長していく自分のからだをみつめてください。

「翔」の文字は
卒業生に、それぞれ
の未来に向って
翔たいしてほしいと
願いをこめて、
校長先生に書いていただき
ました。